

1 月 20 日 ( 第 1 号 )

# 令和5年豊能町議会1月会議会議録目次

令和5年1月20日（第1号）

出席議員	1
議事日程	2
開会の宣告	3
町長あいさつ	3
開議の宣告	3
会議録署名議員の指名	3

（議案提案理由説明・質疑・討論・採決）

第1号議案 令和4年度豊能町一般会計補正予算（第9回） の件	4
町長あいさつ	14
散会の宣告	15

## 令和5年豊能町議会1月会議会議録（第1号）

年 月 日 令和5年1月20日（金）

場 所 豊 能 町 役 場 議 場

出席議員 12名

1 番	池田 忠史	2 番	才脇 明美
3 番	吉田 正子	4 番	中川 敦司
5 番	寺脇 直子	6 番	管野英美子
7 番	永谷 幸弘	8 番	永並 啓
9 番	小寺 正人	10番	秋元美智子
11番	高尾 靖子	12番	川上 勲

欠席議員 なし

本会議に説明のため出席した者は、次のとおりである。

町 長	塩川 恒敏	副 町 長	川村 哲也
教 育 長	森田 雅彦	総 務 部 長	仙波英太郎
まちづくり調整監	松本真由美	保健福祉部長	小森 進
住 民 部 長	大西 隆樹	都市建設部長	坂田 朗夫
こども未来部長	入江 太志		

本会議に職務のため出席した者は、次のとおりである。

議会事務局長	浜本 正義	書 記	清水 義和
書 記	田中 尚子		

議事日程

令和5年1月20日（金）午前11時開議

日程第 1 会議録署名議員の指名

日程第 2 第1号議案 令和4年度豊能町一般会計補正予算（第9回）  
の件

開会 午前11時00分

○議長（管野英美子君）

皆様、こんにちは。

ただいまの出席議員は12名であります。

定足数に達しておりますので、令和5年豊能町議会1月会議を開会いたします。

皆様にはマスクの着用をしていただいておりますが、発言の際にもマスク着用のままでお願いいたします。

また、傍聴につきましては、スペースの関係上、傍聴者間の距離を取るために、本会議場の傍聴席には定員20名のうち5名の方のみ入っていただき、残りの方につきましては音声傍聴の形を取らせていただきますので御了承願います。

この際、暫時休憩いたします。再開は放送をもってお知らせいたします。

（午前11時00分 休憩）

（午前11時45分 再開）

○議長（管野英美子君）

休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、1月会議に当たりまして町長より挨拶がございます。

塩川恒敏町長。

○町長（塩川恒敏君）

議員の皆様、こんにちは。

令和5年1月会議開会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

議員の皆様におかれましては大変御多用のところ、御参会賜りまして誠にありがとうございます。議員各位におかれましては、平素からの御精励に対し、心から厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

令和5年、癸卯（みずのとう）でございますけれども、早いもので月の3分の2を過ぎようとしております。3点、報告だけさせていただきますと思います。この令和5年に入りまして、1月8日には豊能町消

防出初式を開催をさせていただきました。コロナ禍、3年ぶりということになりますけれども、規模を縮小して開催することができました。翌9日にははたちの集いを催し、140名の方のお祝いをすることができました。そして11日でございますけれども、内閣府の特命担当大臣岡田直樹大臣が、本町の御視察をいただきました。岡田大臣は、地方創生並びにデジタル田園都市国家構想の担当をされておられます。本町で進めるスマートシティプロジェクトにおいて、コンパクトスマートシティパークの取組拠点となります、子育て広場だんでらいおんや、整備中でありましたけれども光風台中央公園を視察をされました。本町の課題をデジタル技術の活用によって住民の皆さんの生活向上を行うスマートシティの取組に対して御説明をさせていただき、将来についての課題、それらの意見交換をさせていただきました。

本1月会議には令和4年豊能町一般会計補正予算を提出をさせていただいております。慎重に御審議賜り、御決定いただきますようよろしくお願い申し上げます。簡単でございますが開会に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

○議長（管野英美子君）

これより本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

なお、1月会議の会議期間は本日1日といたします。

日程第1「会議録署名議員の指名」を行います。

本会の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、3番・吉田正子議員及び4番・中川敦司議員を指名いたします。

日程第2「第1号議案 令和4年度豊能町一般会計補正予算（第9回）の件」を議

題といたします。

提案理由の説明を求めます。

川村副町長。

○副町長（川村哲也君）

こんにちは。

それでは、第1号議案、令和4年度豊能町一般会計補正予算の件につきまして、その提案理由の説明を申し上げます。

お手元の補正予算書の3ページを御覧ください。

令和4年度豊能町一般会計補正予算（第9回）でございます。

第1条といたしまして、既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,774万4,000円を増額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ90億4,876万9,000円とするものでございます。

補正後の款項の区分及び歳入歳出予算の金額は、4ページから5ページの「第1表歳入歳出予算補正」に記載のとおりでございます。

6ページを御覧ください。

第2条といたしまして、繰越明許費の補正でございます。「第2表 繰越明許費補正」に記載のとおり、大阪府知事選挙及び大阪府議会議員一般選挙事業につきましては、選挙期日が4月9日執行のため年度内に事業が完了しないため、繰越しするものでございます。

それでは、今回の歳入歳出予算の補正内容につきまして御説明申し上げます。

まず最初に歳出について御説明申し上げます。12ページを御覧ください。

款2・総務費、項1・総務管理費、目6・企画費の5. 地域公共交通促進事業でございますが、地域公共交通基本構想推進補助金につきましては、令和4年7月より運行を行っておりますデマンドタクシーの利用が増えたため、事業者への補助金を補

正するものでございます。

次に、地域公共交通支援金でございますが、原油価格の高騰により影響を受けている事業者に対し支援を行うための費用を補正するものでございます。

款3・民生費、項1・社会福祉費、目1・社会福祉総務費の17. 障害者入所施設等支援金事業でございますが、原油価格の高騰により影響を受けている町内の障害者入所施設事業所に対し支援を行うための費用を補正するものでございます。

13ページを御覧ください。

目2・老人福祉費の12. 介護保険施設等支援事業でございますが、原油価格の高騰により影響を受けている町内の介護保険施設事業所に対し支援を行うための費用を補正するものでございます。

款4・衛生費、項1・保健衛生費、目3・母子衛生費の3. 子育て世代包括支援センター（母子保健型）運営事業でございますが、妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てができる環境を整備するため、妊娠届出時に5万円及び出産届出後に5万円を支給する出産・子育て応援交付金のための費用を補正するものでございます。

14ページを御覧ください。

款6・農林水産業費、項1・農業費、目6・コミュニティセンター運営費の1. コミュニティセンター管理事業でございますが、高山コミュニティセンターにおける真菜加工に係る機械を購入する費用を補正するものでございます。

款10・教育費、項6・保健体育費、目1・スポーツ振興費の3. シートス管理事業でございますが、原油価格の高騰により影響を受けているシートス指定管理者に対し支援を行うための費用を補正するものでございます。

歳出の説明は以上でございます。

次に、歳入について御説明を申し上げます。10ページを御覧ください。

款16・国庫支出金、項2・国庫補助金、目1・総務費国庫補助金から、目6・教育費国庫補助金までのうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金につきましては、歳出のところで御説明申し上げました原油価格の高騰による事業者支援及び出産・子育て応援交付金支給などに係る国庫補助金でございます。

目3・衛生費国庫補助金、節2・母子衛生費国庫補助金の4. 出産・子育て応援交付金につきましては、歳出のところで御説明申し上げました出産・子育て応援交付金支給に係る国庫補助金でございます。

11ページを御覧ください。

款17・府支出金、項2・府補助金、目3・衛生費府補助金でございますが、歳出のところで御説明申し上げました出産・子育て応援交付金支給に係る府補助金でございます。

次に、款20・繰入金、項1・基金繰入金、目1・財政調整基金繰入金でございますが、今回の補正に係る財源調整といたしまして、325万3,000円を増額するものでございます。

以上、簡単ではございますが補正予算に係る説明とさせていただきます。御審議いただき御決定賜りますようよろしくお願いいたします。

○議長（管野英美子君）

これより、本件に対する質疑を行います。  
高尾靖子議員。

○11番（高尾靖子君）

高尾でございます。

12ページと14ページについてお伺いいたします。地域公共交通のところでございますが、今利用されている方が現在西地域から役場まで来るのに費用がデマンドタクシー利用して3,000円以上かかっているんですね。

3,000円以上かかるけれども、差額は、3,000円は町が補助金で払ってくれるっていうことで、あとの差額を自己負担いう格好になっているということを知りまして、こういうことで回数が、帰りにもこれ使えることだったのか、それちょっと確認したいんですけどね。1点だけいいですか。

○議長（管野英美子君）

3回です。

○11番（高尾靖子君）

じゃあ、はい、お願いします。

○議長（管野英美子君）

高尾議員、もう一個、14ページの質問も言ってください。

○11番（高尾靖子君）

14ページのほうはコミュニティのほうでございますが、真菜のことで、老朽化した機械を入れ替えるということですが、真菜加工ということで、豊能町は真菜が野菜として代表的なんです、この生産者組合がなくなっていますので、この真菜加工というのは、今どこがされているのか、それちょっとお聞きしたいと思います。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

松本まちづくり調整監。

○まちづくり調整監（松本真由美君）

デマンドタクシーの御質問だと思っております。デマンドタクシーは東西移動の分についてですが、これまではバスを乗り継いでですとか、デマンドタクシーはリレー便がデマンドタクシーに変わったものと東西間をデマンドタクシーにしたという形に7月1日からなっております。こちらについてはバスの停留所というところを利用して、定期的な時間で御予約をいただいて乗っていただく。ただ、その乗っていただくものが京都タクシーに変わっているというものでございまして、その定時の時間に乗

られる人数等を京都タクシーのほうに予約いただければ、その停留所からその停留所の間を御移動いただけるということになりますので、帰りにつきまして1時間前までに御予約をいただきましたらお帰り乗っていただけるというものでございます。

○議長（管野英美子君）

坂田都市建設部長。

○都市建設部長（坂田朗夫君）

お答えいたします。

現在、真菜加工につきましては、高山地区の地元の方が中心となって、それを毎年3月末ぐらいに摘んでいきますので、それを最終的に集めまして、保管しながら貯蔵しながら、最終的には真菜漬けのために真空パックにして、保管していくというふうに聞いております。

○議長（管野英美子君）

高尾靖子議員。

○11番（高尾靖子君）

真菜のほうは、人数はどれぐらいの方が携わっておられるのかお聞きします。それと地域公共交通については、よくわかりました。東西行き帰り利用できるということですが、1時間前に予約しとかなないけないうことだと、とっても不便だというふうなことも聞いておりますが、しかし往復で6,000円の負担していただけるということではありがたいことではありますが、これが大勢の人数が個々に、一遍に利用されるんじゃなくて個々に利用された場合は、すごく予算が超過する場合もあるんじゃないかなと思うんですが、その場合についてはもう今年度内ということで、もう補助はなくなったら終わりになるのか、その点確認したいと思います。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

松本まちづくり調整監。

○まちづくり調整監（松本真由美君）

現在進めておりますこのデマンドタクシーに移行するという事業については、地域公共交通構想の中で東西間の移動をどうするかということで社会実験からスタートしているものでございます。今後ですが、令和6年度に計画というものを新たに作りますので、そちらを見据えて今回の乗客数等も鑑みながら検討していくということになっていくと思います。

○議長（管野英美子君）

坂田都市建設部長。

○都市建設部長（坂田朗夫君）

お答えいたします。

真菜加工している人数なんですけども、申し訳ございません、ちょっと私のほうで人数まで把握はしておらないんですけども、10人もいなかったと思います。

○議長（管野英美子君）

高尾靖子議員。

○11番（高尾靖子君）

真菜は人気のある真菜漬けなんですけれども、これは市場としてあちこちに出回ってるのか、豊能町の志野の里にのみ出しておられるものなのか、その辺ちょっと確認させてください。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

坂田都市建設部長。

○都市建設部長（坂田朗夫君）

お答えいたします。

志野の里と、あと千里阪急のほうにも行ってたかと思えますし、もしかしたら川上先生のほうが御存じかもしれないですけど、高山のほうのコミュニティセンター、今は幼稚園棟の前でやっていますけど、そちらのほうの前で高山地区の住民さんのほうで作って市場みたいなのをやっていますので、そちらのほうでも売られてるかもしれません。



ちょっとその辺は私のほうでは把握しておりません。

○議長（管野英美子君）

ほかに質疑ございませんか。

中川敦司議員。

○4番（中川敦司君）

中川でございます。

私のほうからは13ページをお願いをいたします。

13ページ、保健衛生費の中におきましての子育て世代包括支援センター（母子保健型）運営事業ですね。この件についてお伺いをいたします。この内容につきましては12月の一般質問におきまして、私がいわゆる出産・子育て伴走型相談支援というふうなことを取り上げさせていただいたことがございまして、まさにそれが今、進んでいこうとしているということで、非常にありがたいことであると私は思っております。この中で、この業務委託料、これはどのようなことをやっていかれようとしているのか、まずこの1点をお伺いします。

○議長（管野英美子君）

3回しか質問できませんので、いいですか、それで。

○4番（中川敦司君）

はい。

○議長（管野英美子君）

小森保健福祉部長。

○保健福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

先ほど議員がおっしゃっていただきました伴走型相談支援と出産・子育て給付金の一体的実施を行う上で、委託料として今回計上させていただきましたのは、私ども既存で持っております健康管理のシステム改修の費用ということで計上させていただいております。その内容につきましては、今回、伴走型相談支援を行うに当たりまして、

現在も行っておるのですが、妊娠時にまず窓口にお越しいただく、そこで情報を聞き取る、それから妊娠をされて、妊娠8か月目をめどにしてございますが、そこでアンケート調査等も行う。場合によっては訪問も来所していただいたりする場合もあります。その時点。それと出産された後に、そこでまた全戸訪問等を利用しまして、また聞き取り調査等を行います。そういうふうに関与した情報を一元管理をさせていただくために、現在既存の健康管理システムの中にこの項目も付け加えまして、電子的に保管をしていくということも考えてございます。あと今後、経済的支援ということで、妊娠時に5万円、出産後に5万円ということで給付を実施するのですけれども、その申請に行います申請行為また決定につきましての通知行為につきましてもこのシステムで管理するようなことにしてございます。

以上です。

○議長（管野英美子君）

中川敦司議員。

○4番（中川敦司君）

ありがとうございます。

もともとこの国が推し進めようとしている伴走型相談支援ですね。これにつきましては当然経済的支援というのもありましたけども、現状のこの相談型支援そのものの充実を図っていくという、そのようなことも大きな一つの目標に掲げておられたかなと思いますが、そういった意味で豊能町としてはこの充実という部分についてはまた今後どのように考えていかれようとしているのかお願いいたします。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

小森保健福祉部長。

○保健福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

従来、先ほども申し上げました、ある期間を捉えまして私ども専門職によりまして各妊婦さんまた出産を終えたお母様にアプローチをしてございます。今回示されている内容から申し上げますと、当然先ほども議員がおっしゃっていただきました経済的な支援もなんですけれども、それぞれの起点、起点でアンケートをいただくことになってございます。そのアンケートをいただきながら、例えば妊婦さんが何を望んでおられるか、何を心配されているか、その辺をつぶさに明らかにさせていただいて、それぞれ相談支援に乗っていく。場合によっては相談機関へつないでいくということも併せて考えてございます。これについては先ほどありました出産のときにも同じようなスキームで実施されるものというふうに考えてございます。それと、それぞれ妊娠期でありますとか産後・子育て期におきまして子育てガイドというものをそれぞれお母さんと対応することになってございまして、ここには例えば妊娠期でございましたら、初期的なところであると自分や家族でしていただくようなことがどんなことがあるとか、それとお仕事の関係もしてきましてそういうことの悩みであるとか、その辺をつぶさに、ガイド的なイメージなんですけれども、それを一緒に確認をしながらやっていくというような取組もございます。ですので今まで割と口頭でやってたようなことが、割と紙ベースといたしますか、目で見るようなベースにでき上がったやつをお互いに確認をしながら子育ての支援をしていくような形になるかなと思ってございます。

以上です。

○議長（管野英美子君）

中川敦司議員。

○4番（中川敦司君）

これからもしっかりと、このいわゆる出産期そして妊娠期、そしてから子育ての方々の、しっかりとこの支援していける、充実させていく取組をこれからもお願いしたいと思います。

以上でございます。

○議長（管野英美子君）

ほかに質疑ございませんか。

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

秋元です。

12ページの地方交通促進事業、まず1点お尋ねします。それから次にまた13ページのほうで質問しますが、まず12ページのほうですが、今回7月1日からスタートさせたデマンドタクシーの件なんですけど、325万3,000円、利用者が増えたので予算補助したいということですが、当初の見積りは大体どのようなものだったので、具体的にどのぐらいの利用者が増えたか、ちょっとわからないことと、それからお話をお伺いすると、本来でしたらタクシー料金のところを町が負担する部分もあるようですが、その金額的なところも併せてお尋ねします。それともう1点、なぜ増えたのか、増えたということはもうそれで活性化とかと思いますが、そこについてどのように分析しているか、以上3点お尋ねします。

それと13ページの件なんですけども、今回大きく伴走型支援、子育ての、これは豊能町前から私は取り組んでいた事業だし、そこは評価してましたので、そこが新しい事業とはちょっと思えないんですね。思ってません。で、うえて、今回5万円の妊娠の届出と5万円の出産でより子育て支援になるかなっていうのは国の施策かと思うんですが、これに関しましても妊娠したら行政に届けるようになってますよね。ですか

ら別にシステムを改修しなくても、相手の方の本人が来られるんじゃないかなと。出産したら届けるし、正直いって何のシステムの改修するのかなと意味がわからないんです。ですから158万3,000円でシステムを改修して、そこで新たに充実する事業はどこにあるのかお聞かせください。以上四つです。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

松本まちづくり調整監。

○まちづくり調整監（松本真由美君）

失礼いたします。

当初の見積りですとか乗っている人数というのを詳細は今、持ち合わせておりません。リレー便ですね。7月1日まで東西を利用する間というのは、東能勢線で中止々呂美まで行っていただいて、そこからリレー便に乗っていただいてときわ台駅に向かっていただくというスタイルだったんですけれども、この乗り継ぎの間が非常に短くてアクセスが悪いというようなことはこれまでも御意見としていただいておりました。また乗り継ぎが非常に不便であるということもいただいておりましたので、今回それをタクシーで移動することによってまずは余野から吉川支所までの間は、もう乗っていただくだけで着く、プラス東の中においては東で循環してるデマンドタクシーに乗っていただければ、役場経由になりますけれども、そのまま牧ですとか希望ヶ丘の宅地内の停留所も増やしましたので、そのポイントから吉川支所までスムーズに行っていただける。希望ヶ丘の中に増やしたのは、診療所のほうにワクチン接種等に行きたくてもそれに行くことができないという御意見もございましたので、希望ヶ丘の中を巡回してからデマンドタクシーを余野のほうにおろしてくるということにしました。

そうすることによって増加人数は増えていくだろうというもとでさせていただいたんですが、実際どこが増えたかという、数字は持ち合わせていないのですが、西の中の巡回が非常に増えました。これについては京都タクシー様の協力もあるんですが、京都タクシーにお電話をされてから予約をして乗っていただくというところで、乗り方の説明ですとか予約の取り方、その辺り、どこのお家の近くだったらどこにポイントがあってどこから何時というのに乗っていただくことができますよというようなことも、京都タクシーが丁寧に説明していただいたことで、このリレー便に代わるデマンドタクシーを乗っていただく方が増えたというふうに思っております。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

小森保健福祉部長。

○保健福祉部長（小森 進君）

お答えをいたします。

先ほど議員から申し上げていただきましたとおり、妊娠をすればまず届出があるということでお尋ねいただきました。今これどういうふうになっておるかとおっしゃいますと、妊娠を確認した場合に母子手帳を交付させていただき事務がございまして、この届出につきましては、私ども保健福祉センターにて行ってございまして、必ずこちらのほうにまず来られるということになります。この時点で妊娠されたということが確認できます。今回おっしゃっていただきましたとおり、現在におきましてもそういうあらゆる面を捉えまして、例えば母子手帳を交付する際にも、そのお母様、特にお母様、そのお母様も来られる場合もありますけれども、保健師等で丁寧に聞き取りをしてるという実態がございまして。だけでも今回、この国から示されている分につき

ましては、当然そういう機会を捉えて経済的支援も行っていくわけなんですけれども、もうちょっときめ細やかな相談支援をしていくべしだということを示されております。これは妊娠時それと妊娠8か月時、それと出産されてからと、この3点を捉えて伴走型の支援をもう少し丁寧にやっていくべしだということ国から示されておまして、実際は、現在のところ国から示されている、先ほどもちょっと申し上げましたけどもアンケート並びにガイドを私どもと確認をしながら悩みに寄り添っていったり、その悩みについてどこかをつないでいったり、そういう支援も同時に行うこととなってございます。今回、質問いただきました、これをやるに当たってなぜ業務委託をしてシステムアップをしていくのかということのお尋ねです。これにつきましては、先ほど申し上げましたが、私どもで利用してございます健康管理システムがございまして、これには当然お子様の接種情報でございまして、これ大人になった方の接種情報、また健康診断とかそういう情報が全て入ることにもなっております。今後、出産前から生まれてこられて、それからずっと子どもから大人になられるまでずっと本町にお住まいであれば、そういった管理については一元管理ができていくものだというふうに思っております。現在このシステムが行われる前、かなり昔からになります、こういう情報は全て紙台帳で管理してたものでございますので、今後はこれをずっと、電子的に保存いたしまして、生まれてから私どもの住民であればずっと大人になってからもそういう情報については一元管理ができるという特典といいますか、メリットがあるのではないのかなというように思っております。今回このシステムを計上させていただきますということになってござい

ます。

以上です。

○議長（管野英美子君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

まず説明で、158万円かな、システムを改修して、要するに生まれたときから、この町に住んでいる以上はその子の健康の状況というのかな、情報というのは一元化できるということは、町にとって重要でありその人にとっても重大でしょうということですね。大事だということですね。私は紙ベースでも十分かなとは思いますが、今のところはね。ただ、わかりました、そのところは。

もう1点の交通のほうなんですけども、何で増えたかはわからないけれども、コロナの注射を打つためとか、それともう1点は京都タクシーの丁寧な説明がよかったんじゃないかということなんですけども、実際、移動の距離とか、何月何日にどなたがどこまで移動したとか、例えば何人がどこまで移動したとか、そういうデータは町に上がってくるんですか。ということともう1点、それから住民にとってみたら非常に何千円ってかかるところ何百円ですわね。非常にありがたい話だと思うんですが、その金額的なところ、例えば余野から吉川支所の間でしたら町の負担というのはどのくらいになるのか。わかったらいいですよ。お尋ねすると同時に、非常にこの7月1日からわずかな期間で三百何万円というのは多いと思うんですよ。来年度の予算にも当然響いてくると思うんですよ。先ほど、高尾議員の質問ですと、今後の話ですと、令和6年の路線かな、バスの期間みたいな御答弁だったと思うんですが、最低やっぱりこの取組というのは、東西に限ってですけど、デマンドに限ってですけど、やはり2年間

はこの形でいくというふうに理解させていただいたらよろしいかどうかお尋ねします。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

松本まちづくり調整監。

○まちづくり調整監（松本真由美君）

失礼します。

今回、リレー便というものがデマンドタクシーに変わるということなのですが、こちらは地域公共交通の基本構想というものが平成26年の4月に策定をされておりまして、その中で東西間をどうするかについて決めていたものが、現在使っているこの基本構想というものになります。ただ、この基本構想のうち、千里中央への便ですとか、あとは一部ときわ台駅をおろすとか、幾つか課題を取り組んできているものもあるんですけれども、このもの以外に考えていけないといけないような交通の内容というようなものが出てまいりましたので、今後は今年度それから来年度、いろいろな実証実験等を取り組みながら、令和6年度はこの基本構想に代わる公共交通の計画というものを立てようと思っております。この計画の中で、このリレー便、東西間をどうするかについて検討の中で、今、デマンドタクシーという形を使っておりますが、これをどのような形で進めていくかについては、計画の中に今後入れていくものと考えておりますので、令和6年度に立てます計画の中に東西便をどうしていくかという話の中で、このデマンドタクシーの継続ですね、こちらをどうしていくかということも乗っていくということになると思います。データは毎月京都タクシーのほうから報告が上がっておりまして、非常に伸びている。あと、東西でいいますと、お勤めになられている方が乗っていらっしゃるということもありましたので、東西での雇

用というのものもあるのだなというところも含めて、今後どうしていかないといけないかっていうのも検討の課題に上がってきていると思っておりますし、費用感についてはこれほど利用が伸びていくというのが、当初には、当初の計画の中、見積りの中にはございませんでしたので、今後この移動というものをどういう形で進めていけばいいのかなってということは、今回始めます2月のオンデマンド交通含めて、移動の仕方について、あと交通事業者とどのように関わっていくかということも含めて検討していく課題であるというふうに認識しております。

○議長（管野英美子君）

支所と余野の間の料金。

○まちづくり調整監（松本真由美君）

支所・余野間は400円になっております。

（発言する者あり）

○まちづくり調整監（松本真由美君）

実質の。

（発言する者あり）

○まちづくり調整監（松本真由美君）

先ほど、全員協議会の中では、約3,000円ほどという御説明をしておりました。正確な数字は、申し訳ございません。持ち合わせておりません。

○議長（管野英美子君）

秋元美智子議員。

○10番（秋元美智子君）

今まで東西なかなか動きが悪かった中で、町が思い切ったこういった施策をすることによって、非常にやっぱり移動する方は多いんだなってというのは一つの目安だと思います。ただ、やはりこの金額を町が今後負担していくというのはやっぱり大変だと思いますし、今の、これから2月1日から始まるAIのオンデマンドの関係ですとか、それからどうしていくかということとは

でも大きな問題ですので、今後様々なデータのほうから新しい形をぜひ見つけていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○議長（管野英美子君）

要望でよろしいですか。答弁は。

○10番（秋元美智子君）

いいです。

○議長（管野英美子君）

ほかに質疑ございませんか。

永並議員。

○8番（永並 啓君）

子育て世代包括支援センターの運営事業の業務委託料システム改修費なんですけど、毎議会ごとに何らかのシステムの改修費が組まれているなというところで、正直将来を見ると怖いなと思ってるんですが、今回の対象者数をお聞かせください。それと、システムを入れるということは当然何らかのメリットがないといけないんですが、そのメリットというものはどのような形で算出されているのか、具体的に教えていただけますでしょうか。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

小森保健福祉部長。

○保健福祉部長（小森 進君）

お答えいたします。

今年度計上させていただいている数字、交付金のところの額になるんですけども、これが対象者になると思います。先ほどからもちょっと申し上げますとおり、まず妊娠届をされた方、これは去年の4月にさかのぼって行います。この対象者の方が35名を計上してございます。それと出産される方、これも去年の4月からのこととなりますが45名、合計しますと80名ということで考えてございます。

それと、システム関係のことでございます。人的メリットとその効果の費用については、これちょっと数字的には出してはならないんですけども、先ほどもちょっと申し上げましたとおり、ちょっと重複する部分があるかもしれないんですが、今後行う際に、一元管理をさせていただくということで、かなりサービスのメリットが出てくるのではないのかなというふうに思っております。昔でしたらそれぞれ紙のベースでそれぞれをもってきまして、それぞれ違う棚からそういう情報をもってきて、どうしよう、ああしようっていう、こういう話になってたんですが、それがワンクリック、ツークリックでいろいろな情報が見れて、それで御案内またサービスにつないでいくときにメリットが出てくるのかなというふうに思っております。これは時代の流れかもしれないんですけども、やはりこういうソフトを使っての業務ということが、我々の業務としては中心になっている。それぞれの範囲でそれぞれの中心になっているかなというふうに思います。私ども、さすがに最初こういうシステムを入れたときに、いろいろ法律が変わったり規則が変わったり、いろいろしたときに、変更というのはどうしても変更しないと、そのソフトについては動いていかないという特性がございますので、我々としてもそこは悩ましいところがあるんですけども、それよりも住民の皆さんにサービスの効果が上がれるようなことも、逆に我々の使命としてはあるのかなと思います。ですから、会社にお支払いする金額以上にサービス展開ができるように、我々としてもその仕組み作りについては考えていきたいなと思っております。

以上でございます。

○議長（管野英美子君）

永並啓議員。

○8番（永並 啓君）

80名なんですよね。それで150万円ぐらいかけると。これがもう市とか大都市だったら、全然こんな議論ならないんですよ。もうシステム改修のメリットのほうが高いから。効果あるのは計算しなくても出てくるぐらいなんですけど、これが例えば10人だったら手作業になるのか。1人まで減ったら。何が言いたいかというと、これから豊能町の出生者数ってどんどん減ってきている状況ですよ。そういう中で、健康管理、今、部長がおっしゃられたような健康管理、一元的に管理するっていても、対象者はどんどん減ってくるわけです。それで以前は1,000人っていう単位があった。そのときでも職員の手でやっていた。そういった中で、これから減っていくのがわかっているのに、システム改修すると、これが延々、この出生者数がどんどん減っていった状況でもシステムの改修費は何百万円ってかかっていく可能性があるんですよ。維持管理に。それを考えると、時代の流れとともに必要にシステム改修するっていうのは、そこを取捨選択する必要がある、特に豊能町のような小さいところでは必要になってくるのかなと。高齢者のシステムっていうのは、これからどんどん増えていくので。まだ将来的に、人の手によるものっていうものは非常に負担がかかってくる。システムでそういう計算なんかが早くできるほうがいい。逆に豊能町の場合、特に出生者数は減っている。減っている部分は人の手でやったほうが早くできるんじゃないか、コストがかからずに済むんじゃないか、そういう、それは自治体によって違うんですよ。人口構成というものは。だからそういったところを判断してシステムを組んでいかなければ、これ本当に、どんどん減ってるのにシステ

ムのメンテナンス費って、1回触ると100万円単位でかかるんですよ。1人だろうが2人だろうが。そこは慎重に考えていただきたいと思いますが、ここら辺、総務部長どうですか。

○議長（管野英美子君）

答弁を求めます。

仙波総務部長。

○総務部長（仙波英太郎君）

永並議員がおっしゃったとおり、コンピュータのいわゆるソフトを改修する、これについてはSE、システムエンジニアが動くたびに費用がかかりますので、非常に高額になってまいります。私どもとしても当然、こういったソフトを改修するのか、非常勤職員を雇って、例えば人海戦術でやるのかっていうことについては、当然検討をしております。ただ、それが全て数値化で現れますかという、当然人件費という部分はすぐに数値化されるんですけども、その人を雇うためにも、今度そうしたら人の募集をかける、募集をかけて選考をする、その方を決定する、今度決定したらその方に対して、もしかしたら業務の内容、場合によってはマニュアルが必要になるかもしれない。そういった数値に現れない部分もやはり出てまいります。そういった点も総合的に考えて、最終的にはシステムにするのか、やはり人海戦術でいける部分については人海戦術でなければいけないのかっていうところを総合的に考える必要があると思っております。

○議長（管野英美子君）

永並啓議員。

○8番（永並 啓君）

僕はもう、それは説明してでも、この人数であれば人海戦術でいくほうがっていうふうな印象を受けますよ。毎回システム改修、11月ぐらいから毎議会ごとにやってる

んですけど、常にこの質問が出るんですよ。それは対象者がわずか100とか200とか、今回も80とか、そのたびに改修というものが必要になってくるので、どうしてもそれだったらっていうふうに。これが1,000、2,000ってなったら誰もこんな質問しないですよ。でも豊能町の状況というものが、将来的にどんどん人口が減って、出生者数も減っている。そういった状況でシステムというのは一度組むと半分逃げられない部分があるんですよ、組んでしまうとね。そこがあるから、将来的なことっていうのを考えると、やはりもっと豊能町のような小さな町では、もっと大きなシステム改修をどかんとするようなところまで待って改修するっていうようなことを考えていかないと、国が補助金くれるから改修しとくっていうのではなくて、本当にそれが将来的にわたっても豊能町のメリットになるかということを考えて、これからシステムの改修というものを検討していただけたらと思います。答弁は結構です。

○議長（管野英美子君）

ほかに質疑ございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（管野英美子君）

質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」の声あり）

○議長（管野英美子君）

討論を終結いたします。

これより採決を行います。

第1号議案は、原案のとおり決することに賛成の方は、起立願います。

（全員起立）

○議長（管野英美子君）

起立全員であります。

よって、第1号議案は原案のとおり可決されました。

以上で、1月会議に付された事件は全て終了いたしました。

お諮りいたします。

1月会議は本日で閉会したいと思います。これに御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（管野英美子君）

異議なしと認めます。よって、1月会議は本日で閉会することに決定いたしました。これで、本日の会議を閉じます。

1月会議の閉会に当たり、町長から挨拶がございます。

塩川恒敏町長。

○町長（塩川恒敏君）

令和5年1月会議閉会に当たりまして御挨拶を申し上げます。

このたび提案をさせていただきました議案につきまして、慎重に御審議を賜り御決定をいただきまして誠にありがとうございます。執行に当たりまして厳正、公正に努めてまいりたいと存じます。

さて、明日でございますけれども、本町人権まちづくり協会主催の人権を考える集いが開催されます。一部では人権に関する標語等の表彰をさせていただきます。2部では、人権に関する豊能町在住でございます。アジアプレス所属のビデオジャーナリスト、この玉本英子氏の御講演がございます。もう既にホームページ等々で御案内をさせていただいておりますけれども、人権を考える、特にロシアのウクライナ侵攻の生々しい状況も含めて御説明をいただけるというところで、非常に素晴らしい機会だと存じておりますので、どうぞ御参加を賜りたく存じます。

それと、翌ですけれども22日、先ほどからも話題になっております。そして先般、内閣府の特命、岡田大臣が御視察をいただきました。コンパクトスマートシティパー



クとしての光風台中央公園のリニューアルオープンをさせていただきます。多世代が交流でき、にぎわいを作る公園整備の状況をぜひ御覧をいただきたいと思います。そして、スマートシティの取組についての展示も行いますので、住民の皆さんに丁寧に御説明をさせていただきます。そして、にぎわいを作るということで、マルシェそしてキッチンカーも登場をさせていただきます。そのほか、ドローン体験などもございます。そしてAIオンデマンド交通の車の展示もさせていただいて、その中で予約の方法でありますとか、そういう部分もしっかりと丁寧に御説明をさせていただくことを考えております。中でも10時半と12時半でございますけれども、2回でございますけれども、吹奏楽がお好きな方に対しては本当に御承知のことと存じますけれども、阪急百貨店吹奏楽団が企業からの申出によりまして御参加いただけることになりました。阪急百貨店吹奏楽団は全国コンクールで毎年金賞を連続してとって、3年連続すると次、出場ができないというように、常に上位をとられている超がつくほどの有名な吹奏楽団が来ていただけということでございます。ぜひ皆さんもお越しをいただきまして、住民の皆さんとの交流を進めていただければと存じております。

最後になりましたけれども、令和5年は議員の各位の御支援、御協力のもと、豊能町が発展することを、そして皆様の健康を祈願申し上げまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。本日はありがとうございました。

○議長（管野英美子君）

これをもって令和5年豊能町議会1月会議を閉じ、散会といたします。どうもお疲れさまでした。

本日の会議に付された事件は次のとおりである。

会議録署名議員の指名

第1号議案 令和4年度豊能町一般会計補正予算（第9回）の件

以上、会議の次第を記し、これを証するためここに署名する。

令和 年 月 日署名

豊能町議会 議長

署名議員 3番

同 4番